

臨床研究に関するお知らせ

当院では、倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しております。

このお知らせは「オプトアウト」、すなわち国が定めた倫理指針に基づき研究の目的を含め、研究の実施についての情報を公開し、既存のデータを用いた研究において、患者さんの拒否できる機会を確保するため、研究の公開を当院のホームページ上で一元的に行っているものです。

研究名

切除可能膵癌に対する術前Gemcitabine+S-1療法の短期成績

研究対象となる方

当院にて2019年4月から2021年1月までに切除可能膵癌と診断され術前化学療法として、GS療法 2コースを予定した16症例を対象

研究の目的と意義

私たちはガイドラインに準じて診療を行っておりますが、ガイドラインに日常診療の実態がすべて反映されているわけではありません。我々の日々の診療の実態を見直し、調査することは診療の向上ひいては県民の利益につながると考えています。本研究の目的は、下記のとおりです。当院で診療を受けた患者さんの既存資料を収集し、詳しく調査することを予定しています。既存資料を収集することで診療実態を把握し、当院における基礎的なデータを確立したいと考えています。

【目的】

膵癌は予後不良な癌種であり、根治切除ができたとしても再発率は高く再発予防のための治療が不可欠である。Prep-02/JSAP-05試験にて術前のGemcitabine+S-1療法（GS療法）の有用性が報告された。しかし日常診療における術前GS療法の検討は少なく、当院におけるGS療法の治療実態および治療成績を評価することを目的とした。

方法と研究期間

当院の既存の診療録から、対象となる患者さんの診療データについての調査を行います。調査項目としては、下記の項目を予定しています。本調査研究により新たに発生する検査はありません。研究者は、収集した調査データをもとに、必要な解析を行います。

【調査項目】 ・患者背景 ・病理学的所見 ・治療内容

個人情報保護に関する配慮

本研究では、情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表いたしません。上記の研究対象に該当する患者さんで、「自分のデータは使わないでほしい」というご希望がある方は、施設の担当医、もしくは以下の連絡先にご相談ください。すでに研究結果を発表済みの場合などは、カルテ情報を利用することの拒否ができない場合もありますのでご了承ください。

本研究に関する問い合わせ先

【研究責任者】

石川県立中央病院 消化器内科 竹村健一

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

石川県立中央病院 消化器内科 宮島沙織

TEL:076-237-8211 / FAX:076-238-2337